

# 「THE統制」評価支援ツールの特徴

## 1. 有効性

整備・運用状況評価を提供、統制活動を条件検索することにより評価の範囲も含め優先順位を設定、不備改善機能、委任・差し戻し(返送)機能

## 2. 整合性

文書3点セットの連動(RCM、業務フロー、業務記述書)による整合性

## 3. 柔軟性

ユーザインタフェースやマスター情報管理機能(RCM関連用語・項目をコード化)提供、非常に柔軟性を持つ。※ガイドラインや制度の変更への迅速な対応が可能

## 4. 機能性

ロールアッププロセス基盤(組織基盤)、日本の組織基盤の企業文化に対応

評価に対する実行と報告(下→上)、承認と課題発行(上→下)などの業務処理の手続きが体系的にでき、すべての業務が順序よく進行可能

## 5. 拡張性

ウェブアプリケーションフレームワーク基盤で他ソリューションとの拡張・連動可能、カスタマイズや新機能追加が容易、組織コードによる連結会社の管理可能

## 6. 効率化

モニタリング、統制のテストと評価、不備の改善活動、報告書作成の効率化

## 7. 監査の対応

報告書作成機能(RCM別/組織別/課題別/承認別報告書等)を提供

## 8. セキュリティ・コンプライアンス

ユーザ認証、SSL、権限の機能定義によるセキュリティ・コンプライアンス対策

## 9. モニタリング

自分の担当業務の作業進捗が分かるグラフィックモニタリング機能、評価業務/課題改善業務別モニタリング機能、業務全体の工程が分かる履歴をリストとして提供

# 導入メリット

### 経営者

1. 評価プロセスの効率化による評価期間の短縮及び管理コスト削減
2. 統制状況、進捗状況の把握と統制活動に対する迅速な指示
3. 報告書作成の効率化
4. 業務改善による売上アップ

### 承認者 評価者 業務担当者 (プロセス オーナー)

1. 評価/承認/監査のプロセスがワークフローとして提供されるため、評価計画が効率的に進行
2. 内部統制に係る評価/承認プロセスが可視化され、自分の担当評価業務や他者の業務との関連性を理解
3. 評価の標準化により、担当者の負荷軽減
4. 評価プロセス単位にわかりやすいヘルプ機能があり、内部統制の理解度がアップ

### 内部統制管 理者 (内部監査 人)

1. 日常的モニタリングによる評価の進捗管理
2. 利用者情報、評価/承認/監査のプロセス単位に自動メール送信による関係者への連絡等の作業負荷を大幅に軽減
3. 職務分掌に応じた各種データへのアクセス制御やアイデンティティ管理が可能になり、組織変更の多い企業では統制業務の生産性が大きく向上